

11 月に入ったばかりだと思っていたら、いつの間にか 11 月 30 日になり、時が経過するのは早いものだと実感しています。11 月 21 日から 29 日まで Thanksgiving 休暇のため授業はありませんでしたので、初めてボストン、ニューヨークへ行って参りました。

今回は、11 月 30 日現在までに経験したことを報告致します。



授業と大学生活

秋学期(Fall semester)も残り約 2 週間となりました。前回の 10 月の報告書に履修科目の進捗報告を記しました通り、現在も同様に授業は進んでいます。今回は、授業を受講する際に興味深いと感じた点について報告させていただきます。

ESL114 -Intro to Academic Writing、ESL 110 -English Pronunciation for Academic Purposes の授業は、授業外で英語を学ぶ機会を多く与えてくれる科目です。例えば、私は ESL 担当の TA(Teaching Assistant)の研究に、被験者として参加をしたことがあります。内容は、TA 自ら作成した発音等のプログラムを試験するといものです。その試験後は、今後の発音改善方法等が記された結果を通知してくれます。また、ESL110 の科目では、授業外で苦手な発音を集中的に練習するための先生 = チューターを紹介してくれました。チューターも同様に学生ですが、彼らは将来英語の先生を目指している人であり、学ぶ側、教える側双方に利点のあるシステムです。ESL114 の授業においては、ライティングに関する大学内の様々なサービスを紹介してくれました。例えば、図書館のへ行き、文献検索の方法やライティングセンターの活用方法を学びました。したがって、ESL の科目は英語能力を向上させる良い科目だと思っています。

HIST 141 -Western Civilization to 1660 の科目は、現在履修している科目の中で授業形態が整っているものだと思います。まずその理由として、約 200 人が集まる週 2 回の講義の出席点、授業参加点を I-Clicker というもので判断している点です。この I-Clicker とは、イリノイ大学独自で開発された、遠隔操作で選択問題を解答するためのデバイスです。教授が、授業の中で、パワーポイント上にいくつか質問出題します。これらの質問は A~E の選択問題であり、学生は I-Clicker の A~E のボタンを押すことによって問題に解答します。このデバイスは固有番号が記されており、その番号と学籍番号をコンピュータ上で登録することにより、教授は個々の学生を認識できるシステムになっています。HIST114 では、この I-Clicker が必須であり、教授は授業開始と同時に質問を出題します。授業終了後までに最低 3 つの質問が出題されます。したがって、授業開始時刻か

ら授業終了時まで講義にきちんと参加しているかどうかをこのシステムを利用して確認することができます。また、出題された質問に対し、全て正解の場合はエキストラポイントが加算されるシステムになっています。授業形態が優れているもう一つの理由として、試験問題概要、レポート内容を約3週間前から学生に伝えてくれる点です。学生はそれらを準備するための十分な時間があります。また、他科目の課題や試験ための準備もしやすいと感じています。最後の理由として、週1回のTAによるディスカッションの授業を、教授が参観する点です。学生の関心はどこにあるのか、TAの教え方などについて注意深くを観察していました。このように、HIST141は、イリノイ大学内でも良い形態を持った授業だと思います。

HIST 141 と EALC - 250 Intro to Japanese Culture では、Illinois Compass という学生ポータルと類似したコンピューター上のシステムを活用しています。これは、自分のI.D.番号とパスワードでログインすることができます。このシステム上で、学生同士の会話、教授やTAへの質問、授業で利用するパワーポイントスライドの取得、テストやレポートの結果閲覧をすることができます。したがって、授業前、授業後はこれを確認して、予習や復習を行います。ESL114、ESL 110の授業はIllinois Compass を用いていないものの、個々にウェブサイトを持っており、その中で課題連絡、課題提出、発音練習のためのツール取得をします。

MCB 100-Introductory Microbiology は個々のウェブサイトを持っています。このウェブ上での問題を解答することが主な宿題です。この授業では大きな試験が4つありますが、この試験が終わると教授はエキストラポイントのための宿題をこのウェブ上に出題してくれます。これは、点数があまり良くなかった人のための計らいです。

イリノイ大学は大きな大学のため、ウェブサイトやI-Clickerなどのテクノロジーが発達し、それらが上手く活用されているように思います。パソコンは必須のアイテムであり、授業にパソコンを携帯している学生をよく見かけます。

以上が授業に関する報告です。

Football & Halloween

アメリカの伝統行事の一つである Halloween は、大変楽しく充実した一日を過ごすことができました。

まず、この日の午後からイリノイ大学 vs. ミシガン大学のフットボールの試合を観戦しに行きました。フットボールはアメリカで人気のスポーツであり、かねてから直接試合を観たいと思っていましたので、1 カ月以上前からこの日のためにチケット購入しました。チケットは、シーズンチケット、シングルチケットの 2 種類があります。シーズンチケットは 6 枚 1 組のチケットであり、シーズン中に行われる試合の中から興味のある 6 試合を観に行くことができます。また、シングルチケットは、個々の試合のチケットです。チケットの値段は、席によって異なります。観衆は、子供から大人まで、皆 Illinois と書かれたオレンジの服を身にまとっていました。そのため、会場全体が一体感に包まれ、黄色の服のミシガン大学の応援観衆もその勢いに圧倒されているようでした。この日イリノイ大学は何十年ぶりにミシガン大学に勝利し、歴史的な試合となりました。試合の終わる頃には、手も足も冷え切って凍えそうでしたが、良い試合を観戦することができ大変満足しました。また、写真に示すように、ハーフタイムのマーチングバンドによるパフォーマンスも感動的なものでした。

試合が夕方に終わると、私は友人宅で行われるハロウィンパーティーへ参加しました。前日に購入した衣装に着替え、道を歩いていると、様々なコスチュームを着た人達に出会いました。この日はあらゆるところでパーティーが開かれており、皆この日を楽しんでいるようでした。友人宅では、コスチュームを身に付けたまま、ホラー映画を観ました。これが一般的な Halloween の過ごし方のようです。この日は遅い時間まで友人達とゆっくり話をすることもでき、楽しくリラックスした時間を過ごすことができました。



Thanks giving

Thanksgiving (感謝祭) も、アメリカの伝統的行事の一つです。この由来については、International Connection クラブで映画を観ながら学びました。歴史的な話からつくられた祝日ですが、現在のアメリカ人の中では、この日は家族の大規模な食事会という意味合いが強くあるようです。主な料理は、ターキー、マッシュポテト、スタッフィング(クルトンと野菜を味付けし、混ぜたもの)、そしてパンプキンパイです。私は、Thanksgiving の 2 週間前のパーティと友人宅、2 回これらの料理を御馳走になりました。各家庭によって作り方は異なります。私が御馳走になったものは大変美味しかったです。イリノイ大学は Thanksgiving 休暇として約 1 週間授業がありませんでしたので、多くの学生は帰省したり、旅行に出かけたりしていました。あるアメリカの友人は Thanksgiving 当日、母方の家で夕食会、次の日は父方の家で夕食会があると言っていました。食事をした後は、皆でフットボールを観戦するそうです。この話を聞いた時、日本のお正月やお盆を思い出しました。

次回はアメリカのクリスマス、年末年始について報告させていただきます。



秋学期も残すところ 2 週間となりました。現在は期末試験に向けて準備をしています。期末試験が終わると、約 1 カ月の冬休みが訪れます。私はクリスマスをニューヨーク、そしてワシントン D.C. で過ごす予定です。それを楽しみに、勉強を頑張りたいと思います。

読んでいただきありがとうございました。これで 11 月の報告とさせていただきます。
